

とちぎ米産地だより 【2月号】

<24年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第11号 平成25年 2月8日(金)
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

1. とちぎ米生長日記

◎来年度に向けた冬季作業 ～優良種子の調製～

冬季には、以下のような工程を経て、
とちぎ米の基となる**純粋で優れた形質**の種子を調製しています。
JAグループ栃木のJA米は、この信頼の種子による**更新率100%**です！

9~10月

2月

収穫・乾燥

調製

生産物審査

農産物検査

袋詰め

出荷

- ・2.2mmの網選別
- ・サンプルをDNA検査

《審査委員(県機関)》

- ・発芽率(90%以上)検査
- ・異品種混入、病虫害等検査

《農産物検査官(JA)》

- ・形質、水分、被害粒等検査

調製された籾(もみ)の一部は**消毒剤の吹き付け**や**温湯消毒**等の処理を行った上で、出荷されています。



2. 栃木県のイベント情報

佐野厄除け大師



- 佐野厄除け大師は、正式には「春日岡山惣宗寺」という天台宗のお寺です。年末年始には関東地方を中心にCMで多く放映されているため、佐野厄除け大師の通称が広く知られています。
- 惣宗寺は、天慶7年(944年)に藤原秀郷が平将門の討伐を祈願して創建したといわれております。徳川家との関わりが深く、徳川家康の遺骸を久能山から日光へ移す際にここに逗留しました。昔から厄除け祈願で参詣する人が多く、正月には百万人の参拝者が訪れます。田中正造翁の本葬が行われ、境内には墓が設けられている。
- 青柳大師(群馬県前橋市)、川越大師(埼玉県川越市)と共に「関東の三大師」の一つに数えられます。

- ・住所:佐野市金井上町2233
- ・TEL:0283-22-5229
- ・交通:JR佐野駅から徒歩15分、東武佐野市駅から徒歩10分

《厄祓い》厄祓い(やくばらい)とは、災厄を避け、今後の人生を無事安泰に過ごすため、祈願祈禱することで、厄除けや厄落としとも云われます。
厄年(左表)における厄祓いの時期は、地域によって異なりますが、新年正月元旦に行ったり(一番祈禱)、年の節目を旧正月と考えて、節分にあわせて行ったりします。

厄年を無事乗り切るために祈願するというのが、厄祓いの本質であるため、その時期を越えてしまっても厄年の残りを無事に乗り切るための祈願に遅すぎることはありません。

男性の42歳、女性の33歳は**大厄**と呼ばれ、凶事や災難に遭う率が非常に高いと云われています。

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24歳	25歳	26歳	18歳	19歳	20歳
41歳	42歳	43歳	32歳	33歳	34歳
60歳	61歳	62歳	36歳	37歳	38歳

3. 産地紹介 ～栃木県内のJAを紹介します！～



JA佐野

組合員や地域の皆さまとの信頼の絆を大切に、
栃木県佐野市の農業振興と社会発展を目指しています

JA佐野は、平成13年3月に旧佐野市・旧田沼町・旧葛生町の3市町の3JAが合併して誕生しました。その後3市町の合併に伴い、平成18年2月にJAの名称を、「JA安佐」から「JA佐野」に変更して現在に至ります。

管内は、関東平野の北端、栃木県の南西部に位置しており、米麦の他イチゴやかき菜などの栽培がされています。地形的には、北部から北東部、北西部にかけては、緑豊かな森林や美しい清流など自然環境に恵まれた中山間地域、南部と西部は、住宅や産業基盤が集積する都市的地域と農業が展開する地域となっています。市の南東部、国道50号と東北自動車道がクロスする周辺の佐野新都市地区には、新しいまち「サザンクロス佐野」が誕生しました。佐野プレミアム・アウトレット®やイオンショッピングセンターなどの大型商業施設が進出し、新しい商業地域が形成され、特に週末には県内はもとより、関東一円から多くの人々が訪れています。

イチゴの栽培が盛んな管内の佐野観光農園いちご畑は、JA佐野の出資により農業生産法人「有限会社 佐野観光農園」として平成13年にスタートを切りました。1月～5月まで楽しめるいちご狩りに加えて、農作業体験や収穫体験、ジャム作り体験なども行うことができ、周年を通して楽しんで頂けるよう取り組んでいます。

また、管内はかき菜の栽培も盛んで、昭和61年に「かき菜専門部会」が設立され、現在では130戸程度の農家が約17haを栽培しています。かき菜には、目に良いビタミンAや、お肌に良いビタミンCが他の野菜に比べてとても多く含まれており、カルシウムに至ってはホウレンソウの約3倍です。その他ビタミンB1、B2や鉄分なども豊富な、春が旬のお野菜です。首都圏には「佐野のそだち菜」として出荷されています。



JA佐野産 あさひの夢

◆「あさひの夢」とは・・・栃木県南部を中心に作付けされている「あさひの夢」は、適度なねばりを持ち、やや大粒で光沢がある、舌触りの良いさっぱりとしたお米です。栽培性にもすぐれ、縞葉枯病・いもち病にも強い特徴を持ち、栃木県の奨励品種の1つとなっています。

◆JA佐野の「あさひの夢」・・・JA佐野管内で栽培されている主な品種はコシヒカリとあさひの夢です。特に管内のあさひの夢は作付面積も広く、JA佐野の主力品種となっております。夏の日差しをたっぷり浴びて美味しい米が育っています。

◆業務用向きである理由・・・一般的に業務用と呼ばれる外食・中食向けのお米は、食味・品質に厳しい条件が求められます。この厳しい条件に応えるのが「あさひの夢」なのです。一等米比率が高いことに加えリーズナブルな価格設定であることから、業務用途の人气が高いです。粘り気が少ない特徴から、特に丼物などとの相性は抜群です。



JAグループ栃木

※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。
JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037